

2011年5月13日

記者各位

パワー・カーボン・テクノロジー社 リチウムイオン電池用負極材工場の建設着工について

当社(社長:木村 康)とGSカルテックス社(本社:大韓民国ソウル市 会長:許 東秀(ホ・ドンス))の合弁会社であるパワー・カーボン・テクノロジー社(社長:徐 元培 ソ・ウオンベ、以下「PCT社」)は、本日(5月13日)、大韓民国 慶尚北道 亀尾(グミ)市にて、リチウムイオン電池用負極材を生産する工場の起工式を実施し、建設に着手しましたのでお知らせいたします。

リチウムイオン電池は、電気自動車やハイブリッド自動車などの次世代環境対応車向け車載用電源として、今後、急激な市場拡大が期待されていますが、その性能を決定する重要な材料の一つが負極材です。

PCT社では、2012年3月に工場の建設を完了し、2012年4月より試運転を、7月には商業生産を開始する予定です。

JXグループでは、既にJX日鉱日石金属株式会社が、リチウムイオン電池用正極材を製造・販売しており、2012年にはその製造能力を年間5,000トン規模に増強する予定です。また、廃正極材などからリチウム等有価金属を回収する技術の開発にも取り組んでいます。

当社は、今回のリチウムイオン電池マーケットへの参入をはじめ、今後も次世代エネルギー技術、商品の開発に積極的に取り組んでまいります。

記

1. 起工式の概要

(1)場所	大韓民国 慶尚北道 亀尾(グミ)市 国家産業第四団地		
(2)主な出席者	慶尚北道副知事		孔 元植(コン・ウオンシク)
	亀尾市長		南 ユ鎮(ナム・ユジン)
	GSカルテックス	代表取締役会長	許 東秀(ホ・ドンス)
	JX日鉱日石エネルギー	代表取締役社長	木村 康
	PCT	代表取締役社長	徐 元培(ソ・ウオンベ)

(3)起工式の様子



(前列左3人目から、亀尾市 南市長、GSカルテックス 許会長、当社 木村社長、後列左から4人目がPCT 徐社長)

2. パワー・カーボン・テクノロジー社 概要

- (1)会社名 : Power Carbon Technology Co., Ltd
- (2)所在地 : 大韓民国 慶尚北道 亀尾(ゴミ)市 国家産業第四団地
- (3)事業概要 : キャパシタ電極用炭素材の製造、販売、研究開発
リチウム電池用負極材の製造、販売
- (4)資本金 : 32, 965百万ウォン(参考:約25億円) ※2011年4月末現在
- (5)出資比率 : 当社50%、GSカルテックス50%
- (6)代表者 : 徐 元培(ソ・ウオンベ)
- (7)既存工場生産規模 : キャパシタ電極用炭素材 300トン/年
- (8)新設工場生産規模 : リチウムイオン電池用負極材 2, 000トン/年(2012年7月生産開始予定)

以上